

プログラムの特徴

①3年間で学部及び大学院の授業科目を履修して教員免許状を取得

1年次で学部の教員免許関連科目を履修し、2年次からは主に大学院の科目を履修します。出身大学で教職科目を取得していない学生でも3年間の在籍で教員免許と修士または教職修士の学位を取得し「専修免許状」を得られる、欲張った履修を可能にしています。

②「長期履修学生支援センター」によるきめ細かい修学支援

長期履修学生支援センターでは、「長期履修学生支援講座」、「長期履修学生支援演習」、「教育実習」、「履修指導」等による修学支援を行うほか、教育実習総合支援センターや各コース等との連携をはかり学習成果の充実を支援します。

③教育実践力を身につける体系的な教育実習を実施

1年次に「ふれあい実習」、2年次に「観察実習」と「主免教育実習」を実施し、教員となるために不可欠な実践力の養成に力を注いでいます。

④経済的な授業料

授業料は、学費2年分を3年間で分割納入していただきます。

入学後に2年の標準修業年限に変更することも可能

40単位以内の学部科目履修で教員免許を取得できる場合等は、入学後に長期履修を2年の標準修業年限に変更することも可能です。(プログラムを受講しない大学院生にも在学年限内で40単位以内の学部科目履修が認められています。)

プログラム受講申請手続き

大学院出願手続き書類と併せて「資格取得プログラム受講申請書」または「学校教員養成プログラム受講申請書」を提出します。

修士課程(120人)*

●人間教育専攻

心理臨床コース	(60人)*
グローバル教育コース	(60人)

*()内は入学定員

*臨床心理学領域出願者は、プログラム受講できません。

専門職学位課程(180人)*

●高度学校教育実践専攻

教科・総合系

国語科教育コース	(12人)
英語科教育コース	(12人)
社会科教育コース	(17人)
数学科教育コース	(12人)
理科教育コース	(12人)
技術・工業・情報科教育コース	(12人)
家庭科教育コース	(5人)
音楽科教育コース	(5人)
美術科教育コース	(5人)
保健体育科教育コース	(8人)
教育探究総合コース	(8人)

教職系

特別支援教育コース	(10人)
幼児教育コース	(10人)
学校づくりマネジメントコース	(14人)
生徒指導コース	(12人)
学習指導力・ICT教育実践力開発コース	(11人)
教員養成特別コース	(15人)

*()内は入学定員



〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748

長期履修学生支援センター

tel:088-687-6106 fax:088-687-6694

<https://www.naruto-u.ac.jp/center/kco/index.html>

修士課程



専門職学位課程



教員になる 夢を実現!

「0」からでも教員免許が取れる
鳴門教育大学大学院

鳴門教育大学大学院

- 資格取得プログラム
- 学校教員養成プログラム

キャリアと専門的な知識を活かし、
実践を展開できる教員へ

学 位
修士(教育学)または
教職修士(専門職)

幼・小・中・
特別支援学校
専修免許状

プログラム受講生は、長期履修学生制度を利用し、3年間の在学期間で、大学院の授業科目に加えて学部で開講されている教員免許状取得に必要な授業科目を履修します。

資格取得プログラム

対 象 修士課程
(心理臨床コース臨床心理学領域は対象外です。)

**取得できる
教員免許状** 幼稚園教諭
小学校教諭
中学校教諭(高等学校教諭*)

学校教員養成プログラム

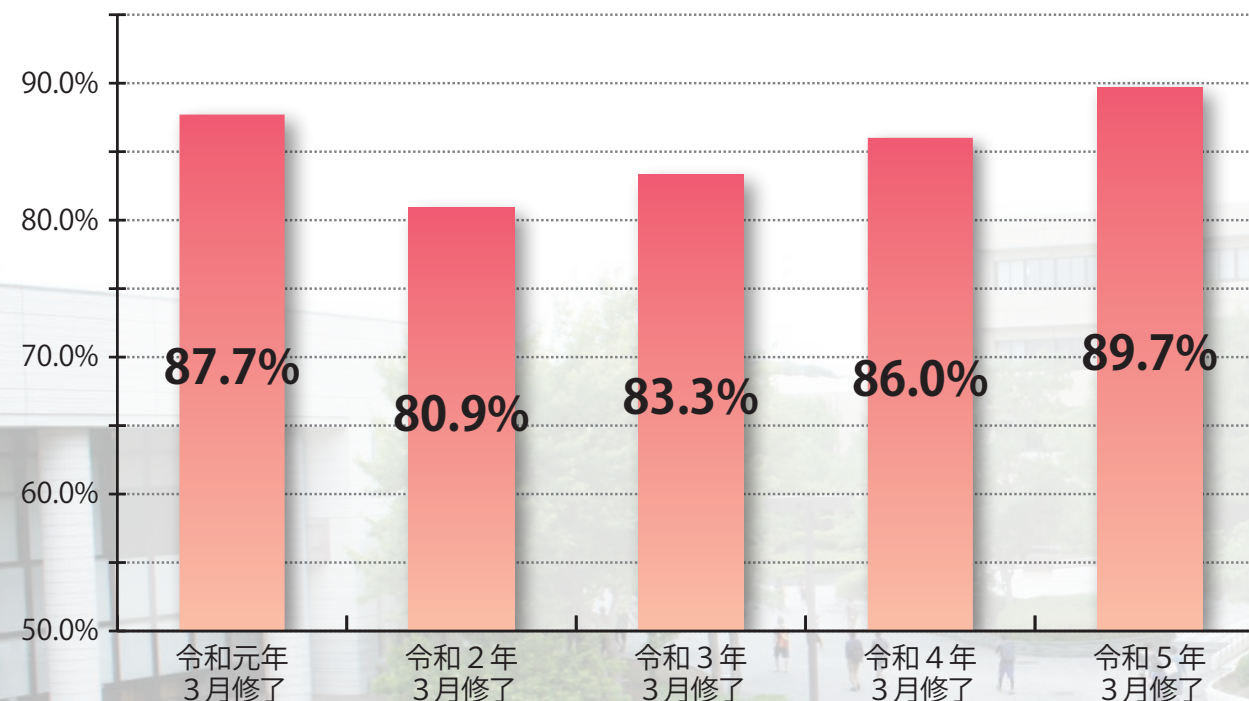
対 象 専門職学位課程(教職大学院)

**取得できる
教員免許状** 幼稚園教諭
小学校教諭
中学校教諭(高等学校教諭*)
特別支援学校教諭**

* 高等学校教諭免許状の取得を希望する場合は、入学後にご相談ください。

**特別支援学校教諭免許状を取得するプログラム(特別支援学校教員養成プログラム)は、幼・小・中・高等学校いずれかの教員免許状を取得または取得見込みの方が対象となります。

プログラム修了者の教員就職率



*教員就職率は、期限付教員への就職者数を含み、進学者数を除いた数によるものです。

プログラム受講入学者数の推移

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入学者数	58	53	64
年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入学者数	59	56	46

毎年度4月1日現在

長期履修学生支援センターの主な講座

- 教師をめざして
- 学校現場の状況
- 学習指導要領・学習指導案について
- 板書
- 子どもの人権
- 特別な支援を必要とする児童・生徒等への対応
- 授業でのICTの活用
- 模擬授業と研究協議
- 学習指導案を作る
- 集団行動とレクの指導
- 話し方講座

プログラム受講生の声

- 丁寧な指導がよかった。
- 板書や話し方の講座等を通して教員としてのスキルアップができた。
- 現場での対応を詳しく聞くことができ、自身が教員になる姿を具体的にイメージできた。
- 学部生や他大学出身の学生から刺激を受けながら勉強できた。
- 親身になって進路相談に乗ってくれた。悩んでいたのが助かった。
- 学部生に羨ましがられる程の手厚い支援だった。わからないことがたくさん聞けてよかった。
- 板書講座を通して黒板に字を書くことが好きになった。

プログラム受講生の例

多様な出身学部から

- 文学部
- 外国語学部
- 経済学部
- 法学部
- 経営学部
- 理工学部
- 音楽学部
- 芸術学部
- スポーツ学部
- 地域共働学部
- 知能情報学部

多様な社会経験から

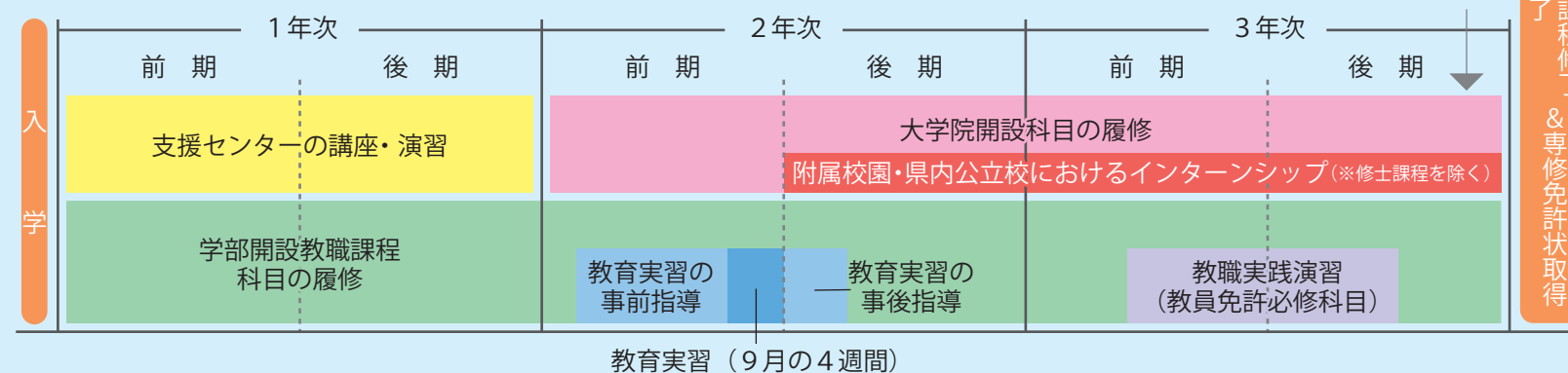
- 青年海外協力隊
- 公務員
- 塾講師
- 日本語教師
- 会社員

長期履修学生3年間の標準スケジュール

※1年次は学部の授業科目を履修します。

※2年次、3年次は学部授業科目と大学院開設科目を履修します。

※教職実践演習は3年次に履修します。



長期履修学生支援センターの支援体制

1年間、長期履修学生支援センタースタッフが担任となりプログラム受講生を指導します。

なお、チーフアドバイザー及びアドバイザーは、公立小、中学校校長や県教育委員会指導主事等を歴任した教員です。

センター所長	内藤 隆 教授(美術科教育コース)
チーフアドバイザー	中妻 克裕
アドバイザー	阿部 孝弘、岡田 志麻、北岡八千代、湊 貴司、横畠 道彦
	(令和6年4月1日 現在)

●スタッフ紹介はこちらのサイト

<https://www.naruto-u.ac.jp/center/kco/003.html>